

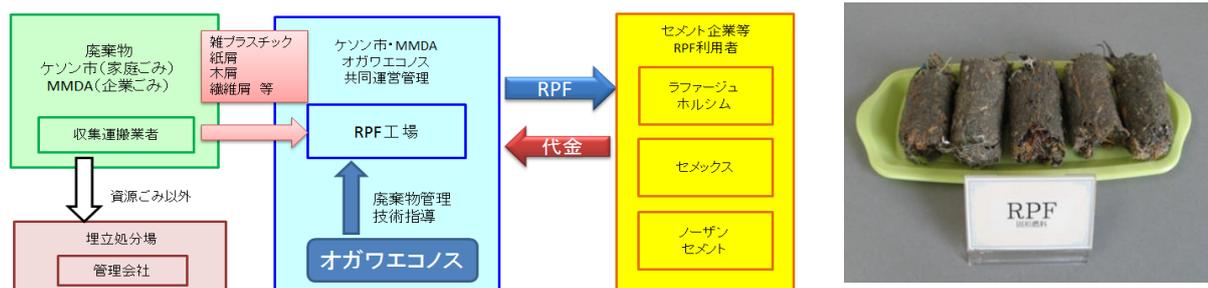
広島県の環境浄化産業クラスター形成事業での発掘シーズが フィリピンでのビジネス化を目指します。(2例目) ～(株)オガワエコノス、JICA 調査事業に採択～

国際協力機構(JICA)は「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において、(株)オガワエコノス(広島県府中市、小川勲代表取締役)が提案する「廃棄物固形化燃料(RPF)の導入のための案件化調査(フィリピン)」を採択しました。

フィリピンは近年の経済成長と人口増加に伴い、廃棄物量が急激に増加する一方、法律で廃棄物の焼却が禁じられているために、特に都市部での埋立処分場不足が深刻な問題となっています。ビン、カン等が廃棄物の中からインフォーマルに回収される一方で、レジ袋など廃プラスチックが十分にリサイクルされておらず、再資源化による廃棄物埋立量の削減は避けて通れない重要な課題です。

(株)オガワエコノスは、廃棄物処理、汚水処理、リサイクル等におけるビジネス以外に、3R活動(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に永年の貢献が認められている地域の企業です。同社のもつ技術のひとつである廃プラスチックを紙、木片などと混合してつくる固形燃料(RPF)生産はフィリピンの廃棄物処理の課題解決のみならず、大量の石炭を使用するセメント工場で石炭代替燃料とすることで二酸化炭素排出量削減にも貢献を見込む提案が行われ、採択されたものです。

今後約6か月間に計4回程度の渡航により、フィリピン担当省庁、ケソン市当局さらにセメント会社での廃棄物分野の課題の確認、石炭代替燃料の市場性等について調査を行う予定です。



ビジネスモデル図

R P F 廃棄物固形化燃料

(図・写真：オガワエコノス提供)

※この調査は、日本の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案等の支援を目的としたもので、2012年度から実施しており、2015年度第2回分は昨年9月に公示を行いました。120件の応募のうち34件が採択され、契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

●参考：(プレスリリース)案件化調査2015年度第2回公示の採択結果について

URL：http://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/ku57pq00001moz9h-att/investigation_201502_result.pdf

以上

【本件に関する問い合わせ・申込み先】

JICA 中国 総務課 担当：西山、中村
 TEL：082-421-6300 FAX：082-420-8082
 E-mail：cictad@jica.go.jp

地域から世界へ、世界から地域へ
 元気をつなぐ JICA 中国

JICA 中国ウェブサイト

